

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2024
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材の枠を超えて
未来を築く

木材建報ウイワリ
Japan Lumber Reports
電子版

水性 木部用白アリ防除剤

アタリゾール

防カビ効果プラス

大日本木材防蝕株式会社
環境科学グループ
本社 名古屋港区千鳥1-3-17
TEL. (052) 661-1531(代)
FAX. (052) 651-3834

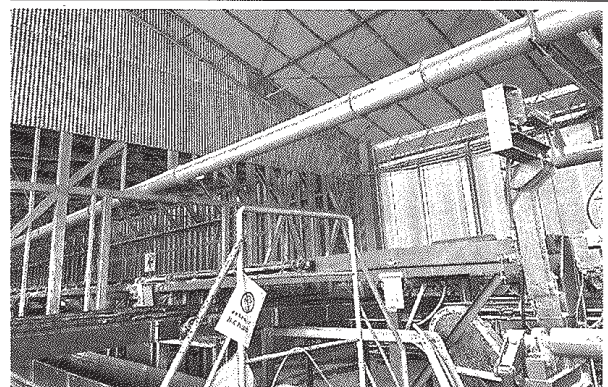
製材設備一式を更新

阿蘇森林組合

来秋稼働予定で原木消費量倍増

阿蘇森林組合(熊本県阿蘇市、河津宗範代表理事組合長)は、蘇陽加工所(同上益城郡)の製材設備一式を更新する。今秋から更新作業を進め、来秋から新体制で本格稼働する予定だ。これにより原木消費量は年間約3万立方尺となり、従来比で倍増する。併せて乾燥機3台を増設することで、KD率約80%も維持する。河津組合長は「昨年からの動き出し、ようやく更新できる」と話す。

同加工所は、2001プライズ(三重県伊勢市、菊川厚社長)のクリアシステム。現在は径級28センチまでの丸太を投入しているが、更新後は約40センチまで製材でき大径材の活用が可能となる。そのため同組合からの原木集荷が



現在の製材ライン。来秋には一式更新する

増加する見込みだ。そのほかリングバーカー、ツインオートテーパー、横バンドソール、耳すり機も更新する。

同所では杉柱、同間柱、同平角、同母屋を製材している。23年5月期の年間原木消費量は1万5700立方尺だった。近年は修理が必要で、更新後26年同期には約3万立方尺まで増える。

新築設備(北海道旭川市、宮内一宣社長)製の高温乾燥機50立方尺タイプ3基も新設する。同所では杉柱、同間柱、同平角、同母屋を製材している。23年5月期の年間原木消費量は1万5700立方尺だった。近年は修理が必要で、更新後26年同期には約3万立方尺まで増える。

新壁量計算対応でソフト刷新へ

ネットイーグル

CADの入力データで効率化

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は来年4月に施行される改正建築基準法に対応し、同社のプレカットCADのオプションソフトを刷新する。壁量基準、柱の小径の基準見直しへの対応が柱で、住木センターの表計算ツールを活用してCADが自動計算する。発売は10月を予定している。住木センターのグレー本(木造軸組工法住宅の許容応力度設計)の次回改訂や中大規模版のグレー本にもいち早く対応する考え。

10月に発売する「Xstar」のオプションとなる。従来の対応ソフト「STR2」の改良ではなく、同社が開発した住宅、

表: 各部の断面積 (単位: cm²)

部	断面積	Wd0 (mm ²)	Wd1 (mm ²)
2	1.28	1.28	1.28
2	0.10	0	0
2	0.71 × 1/2	0.23 × 1/2 × 2.85 ² × 2	0.53 × 0.10
2	0.23 × 1/2	0.09 × 1/2	0.05 × 1/2
2	0.09 × 1/2	0.05 × 1/2	0.05 × 1/2
合計	1.91	1.91	1.48

新基準に対応したサンプル帳票(イメージ)

る値を算出して必要壁量を算定する。入力値は太陽光パネルの重量などプレカットにかかわらない部分は初期設定が必要だが、プレカットにかかわる設計情報

はCADデータから自動入力されるため、合理的に計算できる。新たに算入が認められた垂れ壁や腰壁などの耐力壁も、CADが自動で判断して計算する。

造作用集成材も JAS製品

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

改正建築基準法では、許容応力度計算が必要な建物の範囲が従来の500平方尺以上から300平方尺以上に引き下げられ、アパートや非住宅の多くが対象になる。同社のソフトならプレカットCADの入力データで合理的に計算できる。

柱の小径については、表計算ツールで柱の小径別に「柱の負担可能な床面積」を算定して求める。CADで入力した樹種や材寸から面積を出すため、平柱など任意の材寸で判断できるのが特徴。

主な記事

- ▽2面 スチール プロ向けバッテリーチェーン
- ▽3面 1新発売 名古屋商況 ムードは多少変化
- ▽4面 長谷工コトボレーション 木造ハイブリッド賃貸マンション建築
- ▽5面 関西プレカット協議会 4号特例縮小で大規模リフォームに課題
- ▽6面 大東建設 新住戸構成など展開多彩
- ▽7面 東京新宿木材市場 埼玉センター

あと 2 日

2024 8.22・23

9:30-17:00 9:00-16:00

第45回 通期66回 住宅建材総合展示即売会

ジャパン 建材 フェア

来場登録は コチラから